

3D測定システムを安価に構築できる

『SOFIXCAN』が話題！

ソフィックス



を手軽に利用できることから、製品・部品の加工現場はもとより工作機械の開発にも役立つと注目を集めている。

SOFIXCANを用いた3D計測ツールは、ライナーレーザーとカメラ、そして計測データを解析・表示するパソコンで構成される。

計測したい物体にレーザーを照射。その画像を解析することで非接触で3D形状を再現する。

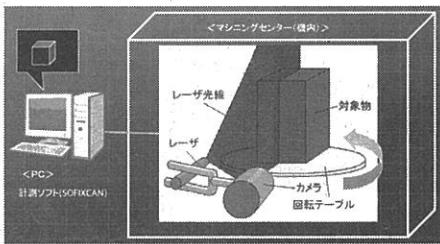
シンプルな測定システムながらライブラリとして、

- ①キャリブレーション機能
 - ②撮影画像から3Dデータ生成機能
 - ③多角度3Dデータの合成機能
 - ④スキャンデータのSTL出力機能
 - ⑤STLの補充機能
- を備え、高品質な3D測定しており、ワークの斜め

システムを迅速に構築することができ、上に設置したカメラで画像を撮影して実施する。

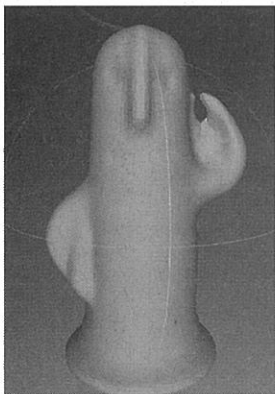
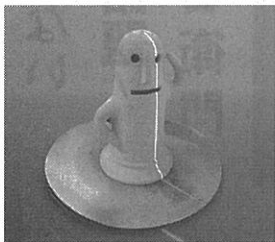
同社では、SOFIXCANの優れた機能を利用して、立型マシンングセンタなどの工作機械内に計測システムを構築する機内計測システムを提案している。同システムは工作機械内で加工前のワークや治具を計測するというシステムで、安価で $\pm 1\text{mm} \sim 2\text{mm}$ の精度で測定を可能にする。工作機械内に低コストの3D測定ツールを組み込むことにより、加工を施す製品・部品の精度・信頼性を向上できる他、加工効率の向上も実現。また、3D測定ツールを組み込んだ工作機械の開発も行えるなど多方面にメリットを発揮する。

JIMTOFで展示した計測システムは、回転テーブルにセットした対象物を取り囲む状態でライナーレーザーとカメラを配置する形で構成(図①参照)。計測はレーザーをワークに照射した状態で、ワークの斜め



機内計測システムのシステム構成(図①)

ソフィックス(横浜市港北区新横浜三ー八ー一六・新横浜交通ビル、☎〇四五一四七三ー三五五九)は、十月三十日～十一月四日まで東京ビッグサイトで開催された「日本国際工作機械見本市」に、工作機械の開発や工作機械を用いた加工現場で活躍する「SOFIXCAN」を出展し、好評を博した。



3D測定状況

こうした中、同社では低価格で3D計測システムを構築できる3Dスキャナライブラリの「SOFIXCAN」を開発。従来では高価であった3D計測ツール